

矢吹町立小学校の児童数は、人口減少の進行に伴い、減少傾向が見られる小学校、又は、横ばいで推移している小学校がありますが、町全体の子ども的人数は、今後、緩やかに減少していくことが予測されています。

子どもの人数が減ると、学級数の減少や学級規模の縮小につながるとともに、集団活動や学校行事にも影響が生じます。さらに、人数の減少が進むと、複式学級編制になることも想定されます。

※複式学級…複数の学年を1つに編制した学級。基準人数を下回ると複式での学級編制になります。

矢吹町教育委員会では、適正な学習環境の規模を整えていくために、令和4年度に設置した「矢吹町学校規模適正化検討委員会」を中心に、将来の方向性などをまとめていきます。

今後、広報やぶき、町HP、「検討委員会だより」などでお知らせしていきます。

矢吹町立小学校の児童数・学級数の推移（令和7年度以降は推計値）

	H17年度	H22年度	H27年度	R2年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
矢吹小	356人 12学級	279人 12学級	217人 10学級	201人 9学級	184人 8学級	171人 8学級	173人 7学級	168人 7学級	158人 6学級	158人 6学級	146人 6学級
善郷小	398人 15学級	473人 18学級	435人 17学級	437人 16学級	419人 15学級	404人 16学級	405人 17学級	410人 16学級	404人 14学級	394人 15学級	373人 14学級
中畑小	177人 6学級	167人 7学級	137人 6学級	151人 6学級	146人 6学級	139人 6学級	129人 6学級	123人 6学級	107人 6学級	100人 6学級	91人 6学級
三神小	152人 6学級	120人 6学級	121人 6学級	112人 6学級	108人 6学級	100人 6学級	97人 6学級	85人 6学級	84人 6学級	77人 6学級	62人 6学級

※上段：児童数 下段：通常学級数（学級数は、1・2年生30人、3～6年 30人程度）

※学級数による学校規模の分類

過少規模校1～5学級、小規模校6～11学級、適正規模校12～18学級、大規模校19～30学級、過大規模校31学級以上

矢吹町学校規模適正化検討委員会とは

検討委員会は、学識経験者や各幼稚園・小学校の園長・校長、保護者、各学校区の行政区代表、その他教育長が必要と認める者など29名の委員により構成され、学校の規模及び配置の適正化に関する基本的な考え方や適正化に向けた具体的な方策について検討をしています。

令和4年度、5年度は、「矢吹町立幼稚園の適正規模・適正配置基本計画」の調査、審議を行いました。

矢吹町立幼稚園の適正規模・適正配置基本計画



- 令和8年度以降に4園を1園に統合する。
- 旧総合運動公園用地（矢吹消防署北側）を新しい園の候補地とする。
- 「こどもまんなか」の視点に立ち、望ましい幼稚園規模に基づく教育活動を検討する。

これからの主な予定

町民の皆さんと一緒に考えます。



月別	R6. 7月	R6. 8月	R6. 9月	R6. 10月	R6. 11月	R6. 12月	R7. 1月	R7. 2月	R7. 3月
主な内容	・ 中学生とのディスカッション ・ 第1回検討委員会（諮問等）	・ 第2回検討委員会（アンケート調査等）	・ 近隣市町村の視察研修	・ 総合教育会議【町部局協議】 ・ 第3回検討委員会	・ 第4回検討委員会（説明会の意見報告等）	・ 第5回検討委員会（基本方針案の協議） ・ 総合教育会議【町部局協議】	・ 第6回検討委員会（答申等）	・ 総合教育会議【町部局協議】（基本方針案の確認）	・ 定例教育委員会（基本方針の決定）
	アンケート調査			説明会等の開催			基本方針案の パブリックコメント		

令和6年度第1回矢吹町学校規模適正化検討委員会が開催されました

令和6年7月8日（月）矢吹町複合施設KOKOTTOにおいて、第1回矢吹町学校規模適正化検討委員会が開催されました。

会議では、委嘱状の交付後に、会長・副会長の選出が行われ、会長に福島大学 准教授 植田啓嗣委員、副会長に学校法人聖和学園理事長の岡村宣委員が決定しました。

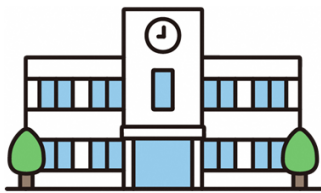
続いて、検討委員会への諮問が行われ、大杉教育長から植田会長に諮問書が伝達されました。

次に、令和6年度事業計画、アンケート調査、町立小学校の学校施設の老朽化及び維持管理費、中学生とのディスカッションの実施などの説明が行われました。

今後は、諮問事項「町立小学校の適正な規模及び配置の基本的な考え方について」の調査及び審議を下記の基本姿勢に基づき、検討していきます。

【基本姿勢】

- 1.子どもたちを主役に検討する。
- 2.子育て世代、地域住民の意見を尊重する。
- 3.地域との連携、協働を促進する。



教育長挨拶

今年度は、町立幼稚園の適正化に続き、町立小学校の適正化について検討を進めていくことになります。

また、今回は小学生・中学生、保護者、教職員、地域住民全世帯にアンケートを実施する予定です。

多くの方々に矢吹町の教育の現状を知ってもらえるようなアンケート調査になればと考えております。

住民の皆様にもご協力をいただきながら、この会議を通して町全体で検討を進めていけるように、機運を高めていきたいと考えております。

ご協力のほどよろしくお願いいたします。

矢吹中学生との意見交換会



7月10日（水）16時から矢吹中学校の多目的室にて、中学1年生～3年生の23名に参加していただき、「4小学校から一つの中学校に集まって感じたこと」など、意見交換会を実施しました。

たくさんの意見を聴くことができました。ご協力いただいた生徒の皆様ありがとうございました！

通学距離が遠い人は
スクールバスがある
といい！

中学校で1つになる
なら、小学校も1つ
でもいいと思う！

中学校の近くに
小学校があると
いいと思う！

小学校では、先生との
距離が近く話しやす
かった。上級生が
下級生に勉強を教え
ていた。



お問い合わせ

矢吹町教育委員会 教育振興課
〒969-0296 福島県西白河郡矢吹町一本木101
TEL：0248-44-4400 / FAX：0248-42-2587
E-mail：kyouiku@town.yabuki.fukushima.jp

これまでの検討委員会
の取り組みはこちら ▶

